

平成 21 年度 決算を認定

無量谷隆氏を決算特別委員長に選任し、9日審査の結果、原案通り可決されました。

一般会計・特別会計・病院会計の決算額については10月号の“ほろのべの窓”でお知らせしておりますので質疑についてお知らせします。

◆歳出

〔商工費〕

(菅原委員) 町長の施策の中で、魅力ある商店街づくりとあったが、決算では色々課題がある。特に高齢者や弱者の方にとって日用品や家庭薬等の購入に苦慮している状況にあるが、21年度にどのような施策を講じたのか。

(宮本町長) 商工会の各部会やJAのAコープとも協議し情報機器を活用し解消していきたい。

(小山副町長) 商工振興については、個々の商店の充実には厳しいものがある。医薬品については診療所建設と共に院外薬局の設置により一般購入できるよう取り進めている。

〔教育費〕

(斉賀委員) 子どもの心サポーター相談員の配置と、特別支援教育の実施によりどのように改善されたのか。

(兜教育次長) 子どもの生活の悩み、不安やストレスが先生や親以外の相談員との

コミュニケーションを通じて解消されている。また特別支援員の配置により学習障害等の対応をしている。

(植村委員) 外国語指導助手派遣事業による授業を受けた子ども達の反応と、生涯学習アドバイザーによる効果はどうだったのか。

(伊藤主査) 留萌教育局からのALTと天塩町在住の米国人の二人によって町内各学校に約30回の授業を実施し生の英語を学び子ども達も真剣に取り組んでいた。

(兜教育次長) 動物写真家の富士元寿彦氏による自然体験事業として環境対策等について学んだ。

(吉原委員) 東ヶ丘スキー場のリフトは設置して相当の年数が経ち、今後も修理費がかかると思うがどの程度まで使用できるか。

(兜教育次長) 設置して18年になる。圧雪車等もなんとか使用しているが今後も補修計画等をたて対応していきたい。

◆歳入

(植村委員) 約1千2百80万円が未収金となっているがこの金額についてどう考えているか。

(堤会計課長) 滞納繰越や現年度徴収率は例年通りの推移で来ており、新たな滞納を出さないよう努力している。

◆総括

(植村委員) 町の運営は税金と国や道からの交付金で賄う事だと思うが、今後自己財源の確保をどのように考えているか。

(宮本町長) 税や使用料は町民の理解をいただきたい。また基幹産業の酪農や商工業の振興を図ると共に風力発電、深地層研究関連から生じる収入の確保で考えている。

(西澤委員) 総合体育館の利用日が変わった事で経費の削減や利用者数等改善された点があったのか。

(戸川主任) 経費は変わらないが、利用人数は30%の増加となった。

(斉賀委員) 自律プランの最

終目標年度を迎えこれまで地域産業の活性化や新産業の創出も目標としていた。特にトナカイ観光牧場のあり方について無料化したに満足しているか。

(宮本町長) 従来から見入場者数が増えており喜ばしいことだ。

(斉賀委員) 21年度目標に地域通貨マネーといった地域内循環システムの構築を盛り込んできたがその成果はどうか。

(小山副町長) 地域通貨等の提案もあり研究してきましたが町内での受け入れ団体の少なさや景気の悪さなどの影響で頓挫してしまった。

(高橋委員) 地場企業の育成と振興ということで人材開発支援センターの実績についてどうか。

(高田経済課長) 稚内地方雇用促進協議会から町内の各企業訪問で職員の研修を実施した。